

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 26 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370209

研究課題名(和文) 中近世期における九条家蔵書の形成と流伝に関する研究

研究課題名(英文) A Study on the Formation and Transmission of the Kujo Family Library in the Middle and Early-modern Period

研究代表者

石澤 一志 (ISHIZAWA, KAZUSHI)

国文学研究資料館・研究部・特定研究員

研究者番号：30507752

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：五撰家の一つ、九条家が近世前期に行った集書、書写活動と蔵書形成・整理の様相を解明し、中世から近世にかけての九条家の蔵書の実態を明らかにすることを目的とした研究を行った。江戸時代の前期、寛永年間の九条家当主であった、九条道房によって行われた蔵書形成の様相を、現存する典籍から明らかにした。同時にそれらの蔵書のルーツを探るべく書承関係を遡り、九条家蔵書から書写され、転成していった書物群の行方を明らかにした。大正期以降これら九条家の蔵書は、巷間への流出を含め、九条家から離れて散佚し諸家に分蔵されているが、それらを出来る限り追跡し、現時点に於ける九条家旧蔵書の所在を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：It aimed to elucidate aspects of collections, photocopying activities and collection formation / arrangement by the Kujo family in the early modern era, and to clarify the actual state of the Kujo family books from the Middle Ages to the early modern times I did research. In the early period of the Edo era, the formation of book collection carried out by Kujo Michifusa who was Kujo house family head for the past years was clarified from existing literature. At the same time, to trace the roots of those books, we traced back to the writing relationship, revealed the way of the book group which was copied from the Kujo family collection and changed. Since the Taisho period these collections of the Kujo family, including the runoff to the street, are scattered away from the Kujo family and are kept in the Each research institution, but as far as possible we are tracked I revealed the location.

研究分野：日本文学

キーワード：日本文学 九条家 九条道房 江戸前期 文庫 蔵書 書誌学

1. 研究開始当初の背景

五撰家の一つ九条家の蔵書は、鎌倉時代以来歴代当主により形成された貴重なものであったが、昭和初期に行われた売立等により巷間に流出し、諸家に分蔵されることになった。

大規模な売立である昭和4年(1929)時の様子は反町茂雄『一古書肆の思い出』により知られる。とりわけ話題となったのは『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』の2書であり、幻の逸書の出現に多くの注目が集まった。これらは国文学者・金子元臣が入手し、現在は国文学研究資料館に寄託されている。この他にも多数の作品が売立に付され、九条家本として学会に報告され、その後の研究に多大な新見をもたらした。

加えて近年、新たな事実が明らかになった。国文学研究資料館蔵・西下経一旧蔵、初雁文庫本の『とりかへばや』と前出『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』とが同一筆跡であることを新美哲彦(連携研究者)が指摘した。その指摘を承けた石澤(研究代表者)が、鶴見大学が所蔵する『浜松中納言物語』および天理図書館蔵『源承和歌口伝』が上記3書と同一筆跡であることを発見、また佐々木孝浩(研究分担者)は、京都大学附属図書館蔵中院文庫本『古今序抄』(三流抄)および早稲田大学中央図書館蔵『歌合集』もまた同筆であることを発見した。これらは非常に特徴的な筆跡を持つだけでなく、装訂も同一で『とりかへばや』『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』『源承和歌口伝』『歌合集』は「九条家本売立入札目録」(『反町茂雄収集古書販売目録精選集』ゆまに書房、2000)の中に書目が見出されることから、すべて九条家旧蔵本であることが判明した。これらをまとめ、主として鶴見大学蔵『浜松中納言物語』の筆者について考察したのが、池田利夫「祖形本『浜松中納言物語』の写し手は誰『とりかへばや』と『恋路ゆかしき大将』と」(『鶴見大学紀要』38、2001)である。これを承けて、石澤(研究代表者)は「九条家旧蔵本『歌合集』について 池田利夫「祖形本『浜松中納言物語』の写し手は誰」続貂」(『国文鶴見』36、2002)を発表し、実践女子大学蔵山岸文庫本『歌合集』が九条家旧蔵本で、その一部分割されたのが早稲田大学蔵『歌合集』であることを明らかにした。そこでこの筆者については未詳ながら九条家に連なる右筆であろう、との推定を行った。

その後、海野圭介(連携研究者)が「随心院門跡と歌書」(『日本古典文学史の課題と方法』和泉書院、2004)の中で、小野随心院に所蔵される歌書のうち上記の作品群と同じ筆跡をもつもの3点を報告し、随心院門跡が九条家の出身であるという関係から、これらは九条家から随心院へと贈られたものである、という重要な指摘を行っている。その後、石澤(研究代表者)は久保木秀夫(連携研究者)の教示を得て、天理図書館の九条

家本の中に前出作品群と同じ筆跡を持つ典籍がまとまって所蔵されていることを確認した。さらに石澤は宮内庁書陵部に所蔵される九条家本の中にも、既述の作品群と同一の筆跡を持つ典籍が存在することを発見し、それが近世前期の九条家当主であった九条道房(慶長14 1609 ~ 正保4年 1647 3 9歳)の書写活動の一環として行われたものであることが想定されたため、それを明らかにするべく「近世前期における九条家蔵書の復元とその文献学的研究」(基盤研究C(一般)平成23~25年度)を受け、これまで調査を行ってきた。

2. 研究の目的

五撰家の一つ、九条家が近世前期に行った集書、書写活動と蔵書形成・整理の様相を解明し、中世から近世にかけての九条家の蔵書の実態を明らかにすることを目的とする。

江戸時代前期、寛永年間の九条家当主であった、九条道房が行った蔵書整理・書写活動による、蔵書形成の様相を、現存する典籍から明らかにし復元する。

同時にそれらの蔵書のルーツを探るべく書承関係を遡ることと九条家蔵書から書写され、転成していった書物群の行方を明らかにする。

大正期以降これら九条家の蔵書は、巷間への流出を含め、九条家から離れて散佚し諸家に分蔵されている。それらを出来る限り追跡し、現時点に於ける九条家旧蔵書の所在を明らかにしたい。

3. 研究の方法

宮内庁書陵部に所蔵される九条家旧蔵本の概要把握のため、カード目録により書目を抽出し、それらの悉皆調査を行う。それに基づき、個々の典籍についての書誌学的・文献学的研究を行った。

また広島大学・島根大学・実践女子大学など、諸研究機関に分蔵される、九条家本の調査を行う。そして、それらの網羅的・悉皆的な調査とそのリストアップを随時行った。

研究代表者・石澤は、研究全体の統括を行う。具体的な調査先として、天理図書館・宮内庁書陵部・鶴見大学・実践女子大学・日本大学・島根大学・広島大学・京都大学・早稲田大学・慶應義塾大学・国文学研究資料館など、それぞれの九条家本の調査に当たる。またそれら調査の基準となる筆跡のサンプルを石澤が整備し、その集積を行った。

研究担当者に関しては、中川博夫が鶴見大学・宮内庁書陵部蔵本の調査佐々木孝浩が慶應大学大学図書館本・宮内庁書陵部蔵本および天理図書館本の調査を担当し、九条家本の悉皆調査に当たった。

連携研究者各位についてはそれぞれ、新美哲彦は関西・中四国方面に散在する九条家本探索と調査、海野圭介は国文学研究資料館、および京都・随心院所蔵九条家本の再調査、

久保木秀夫が鶴見大学・早稲田大学および宮内庁書陵部蔵九条家本の調査、小山順子が天理図書館蔵九条家本の調査を主に担当し、調査を行った。

宮内庁書陵部蔵の九条家本については、目録上から判明する、九条道房書写関連本の一覧を完成する。その上で、実際の古典籍の筆跡・装訂など書誌学的な調査と文献学的調査を行った。

4. 研究成果

宮内庁書陵部所蔵の九条家旧蔵本については、現時点でカード目録により確認しうるもので、書写および整理に、九条道房に関わったと考えられる書目、500点あまりを調査した。中で、道房が外題を記し、奥書を加えるなど、その関係が判明する書目についてを調べ、その数が481点に上ることを明らかにした。

道房が「他筆」と呼ぶ、独特の筆跡を示し、『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』などと同筆と見られる、右筆による書写であることが判明するものが、10点あることを確認した。

天理図書館所蔵の九条家旧蔵本については、『天理図書館善本書目』により九条家旧蔵本を抽出しその調査を行った。また、関連書目を調査し、40点あまりの調査を行った。結果として、独特の筆跡を示し、『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』などと同筆と見られる、右筆による書写であることが判明するものを、28点、確認することが出来た。

慶応義塾大学図書館所蔵の九条家旧蔵本については、久曾神昇氏の旧蔵本でもあるが、佐々木孝浩氏から教示を受け、調査を行った。結果、『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』などと同筆と見られる、右筆による書写であることが判明するものを3点見いだすことが出来た。

広島大学所蔵の『古今著聞集』については、その筆跡上、『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』などと同筆と見られる、右筆による書写であることが判明すること、およびその装訂と、古書肆・反町茂雄の残した資料(千代田図書館蔵)から判断して、九条家旧蔵本である可能性が極めて高いことを指摘した。

学習院大学に、九条家旧蔵本が所蔵されていることは夙に知られていたが、既知のものに加えて、文学部日本語日本文学科研究室に九条家旧蔵本の『再昌草』があり、これも『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』などと同筆であることを発見した。

島根大学所蔵の『千五百番歌合』は、伝来は明らかではないが、『我が身にたどる姫君』『恋路ゆかしき大将』などと同筆と見られ、その意味で注目される写本である。さらにこの本は、装訂が列帖装(綴葉装)であり、これは、京都大学中院文庫本の『古今抄』(古

今和歌集古注釈)に次いで、2例目となるが、ほとんどが袋綴装であるのに対し、注目される例である。

なお、九条家旧蔵本が巷間に流出し始めた時期について、従来、昭和4年(1929)が始まりであるとされてきたが、実は大正年間に、美術品を中心とした売り立てが行われていたことを、売立目録から見だし、明らかにした。

これら九条家旧蔵本の総体を見極めるべく調査を行ったが、その範囲は広く、図書目録などには記載がなく、論文・図書に引用・注記されるものなどについても、目配りしつつ、情報を集積することを行ったが、不十分な状態である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

— 石澤一志、九条家旧蔵本の行方 池田利夫「祖形本『浜松中納言物語』の写し手は誰」続々貂、これからの国文学研究のために、笠間書院、査読なし、1巻、2014、159 - 188

〔学会発表〕(計2件)

石澤一志、室町後期の女房歌人の筆跡「旧院上臈」と「勾当内侍」をめぐる、中世文学会、2017

石澤一志、文明一二年九月着到和歌をめぐる、和歌文学会、2016

〔図書〕(計2件)

— 佐々木孝浩、日本古典書誌学論、笠間書院、2016、564

— 石澤一志、風雅和歌集 校本と研究、勉誠出版、2015、576

— 久保木秀夫、『栄花物語』主要伝本類概説、王朝歴史物語史の構想と展望(加藤静子、加藤宏徳編、の内) 新典社、2015、704

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：

発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等
なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

石澤 一志 (ISHIZAWA, Kazushi)
国文学研究資料館・研究部・特定研究員
研究者番号：30507752

(2) 研究分担者

中川 博夫 (NAKAGAWA, Hiroo)
鶴見大学・文学部・教授
研究者番号：70211414

佐々木 孝浩 (SASAKI, Takahiro)
慶應義塾大学・附属研究所斯道文庫・教授
研究者番号：20225874

(3) 連携研究者

新美 哲彦 (NIIMI, Akihiko)
早稲田大学・教育学部・教授
研究者番号：90390492

海野 圭介 (UNNO, Keisuke)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：80346155

久保木 秀夫 (KUBOKI, Hideo)
鶴見大学・文学部・准教授
研究者番号：50311163

小山 順子 (KOYAMA, Junko)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：20454796